

2018
8・9



プラド美術館展ーベラスケスと絵画の栄光ー関連 「劇的(ドラマチック)な写真をとろう！」

■開催日時：8月25日(土)10:30~15:30
9月29日(土)10:30~15:30

■参加者：8月・39名 / 9月・29名

■対象：小学生~高校生

■参加費：500円

■場所：アトリエ2

■完成した作品：

左から「たのしい」「びっくり」「かなしい」「ふしぎ」の表現

■概要

プラド美術館展を見て感じたことを体で表現する鑑賞と創作のプログラムです。照明や小道具を使ってスペイン絵画のような劇的な写真を撮りました。



■参加者の感想

- ・班で話し合ったことがいちばん楽しかったです。
- ・そうさくした写真をアルバムにいたい。
- ・はじめてだったけどいねいにおしえてくれたからたのしかった。
- ・もっとせいさくがしたい。

■保護者の声

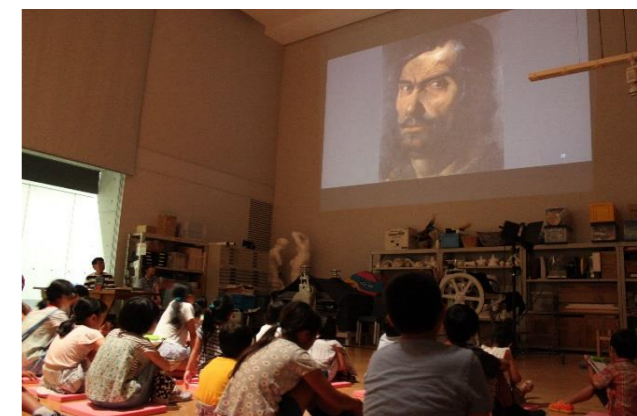
- ・一人で参加したので不安そうでしたが、皆で話しているうちに慣れてきたのか最後は楽しかったそうです。また参加させたい。
- ・内容が良かった。色々な年齢のお友達と仲良くなれコミュニケーション教育にもなりました。

制作プロセス

■解説・鑑賞

最初に担当学芸員がこども向けの解説会を行いました。17世紀スペイン絵画の特徴は、明暗の強調とおおげさな身ぶり・表情であるということ学びました。

次に展示室へ向かい作品を鑑賞しました。ベラスケスやブリューゲルの絵から午後の制作のヒントを見つけます。なにか見つかったかな？



■制作

午後はお待ちかねの制作です。

今回のお題は「きもちにまつわる物語を表現しよう」です。5つのチームに分かれてアイズブレイクをしたら「きもちくじ」を引いて物語を考えました。場面設定には衣装や小道具選びが重要です。色鮮やかな布や、絵画に出てきそうなアクセサリをたくさん用意しました。



■撮影

撮影ブースの登場にみんな少し緊張気味。

ミュージアムティーチャーが照明の強弱や方向によって写真の印象が変わることを説明しました。小道具をセッティングして絵画の世界のような衣装を着たら撮影に挑みます。おおげさな身ぶりや表情できもちを表現します。



「たのしい」

「かなしい」

■作品発表

それぞれのきもちを表した劇的な写真が撮れました。

写真右の「かなしい」チームは傘にかけヴェールや床の布で雨を表現しました。表情からもどこか憂鬱な気持ちが伝わり情景が思い浮かびます。

■振り返って

- ・鮮やかな衣装や野菜や果物等の小物に照明の強弱が加わって、まるで絵画のようです。皆の表情も良くプラド展を見てたくさんのことを感じ取ってくれたことが伝わりました。(飯尾学芸員)
- ・きもちを表現するために明暗や画面構成を創意工夫したことが作品から伝わってきます。制作していく段階で細部までこだわって作りこむことでチームごとの独創性が発揮されていました。(三好ミュージアムティーチャー)